

## カレッジ通信

編集・発行

東京建築カレッジ

授業見学  
大歓迎!

# 高校3年生の甥っ子から相談「建築系に進みたい」 迷わず建築カレッジ入学を勧めました

一級建築士事務所 (有)ヒカリハウジング(練馬区)渡邊 千洋 社長



東京建築カレッジは町の工務店・設計事務所の後継者育成の役割があります。毎年、息子さん・娘さん・お孫さん・親戚の子の入学が目立ちます。来年4月入学生(第31期生)も複数の町の工務店から「未来の後継者」を迎える予定です。その中の一人、練馬区大泉町のヒカリハウジング社長に聞きました。

——反町(そりまち)文太朗さん(都立清瀬高校3年)を卒業後採用することを決め、さらに東京建築カレッジ入学を勧めた経緯について

私の妹の息子が文太朗君です。甥っ子です。学校の休みの期間に、時々

うちの仕事を手伝いに来ていました。彼のお父さんは電気関係の学校を出て、公的施設の管理の仕事をしています。文太朗君も数学など理系が得意そうなので、そちらの方向に進路を定めるのだろう、と思っていました。ところが、高校2年になった彼から「建築系に進む」という意思を聞かれました。建築系なら大学の建築学科などが進路として頭に浮かびますが、やりたいのは現場工事に従事する仕事とのこと。大工職にも憧れがあるようでした。

そこで思い出したのが、

東京土建の学校「東京建築カレッジ」のこと。「けんせつ」紙上で学校紹介



普通科 高校3年生 反町さん

介が頭に浮かびました。すぐに紹介し、授業の一部が体験できるオープンキャンパスに参加させることにしました。

二級建築士の受験資格を得るのは7年かかります。東京建築カレッジには建築士指定科目(国土交通省)があり、修了時に受験資格が得られます。2年間、カレッジに通えば、そういう特典がある。これは魅力的です。

——カレッジ教育に期待することは

## 畳の魅力・可能性を学ぶ

11月15日(土)午後1時から東京・大久保の「けんせつプラザ東京」で開く公開講座は「「畳から考える 職人の手わざが生きた新しい建築空間」がテーマ。東京都畳高等職業訓練校の小曾根涼一校長を講師に、畳の基本を学んだ後に、建築職人がその可能性をどう引き出すのか、語り合います。

東京土建中野支部副委員長の畳職人・濱崎亮さん(建築設計)、講師の鈴木陽子さん(建築設計)、第25期生の石田凌さん(大工)が登壇。参加無料。案内チラシはカレッジHPからダウンロードできます。

## 第26回公開講座

### 規矩準縄勾

駅までの道、戸建て住宅を眺めて歩きました。10軒中9軒は工場生産の部材組み立て式。修理は家電製品のよう

に部品の取り換え。「買い換えたほうが良いですよ」的な建て替えも少なくないでしょう▼便利な電動工具の普及で手道具の出番はほとんどありません。替え刃をプロも使うようになり刃物を砥ぐという習慣を持たない職人が増えていっているのです。自由時間が増えるのは喜んでいいことかもしれませんが「親が大切にしていた家の修理を安心して任せられる職人が見つからない」という声も。「近所の工務店に勝手口の木製建具の修理を頼んだら、アルミ製の扉に変えられた」。抗議しても「なんで?こちらのほうが性能良いですよ」▼住まいの文化を理解し未来に受け継ぐ気概、知恵と力を持った建築職人の育成の意義をひしひしと感じます。職人の手わざを求めるお客様はいます。

## 今の現場では学ぶのが難しい 基本技術が習得できる

現場で学ぶににくい基礎教育。墨付けや鉋の扱い、サシガネの使い方……。建築大工の基本をまずは習得させたい。これらができない人、今いっぱいいいます。だから、手道具使いの初歩から始まるカレッジの大工実技実習は貴重です。

私ができなかった  
学びをカレッジで

私自身、この業界  
は大工からスタート  
しました。仕事を取

るため、次第に設計業務にシフトしたため、大工を極めずにな年を重ねたという思いがあります。私ができなかった分も、文太朗君には思う存分カレッジで学んでほしい。二級建築士を早期に取得せよ、というミッションがあります。当面は2級建築大工技能士の資格取得が目標になるのかな。本人次第ですが、技能五輪の選手になってもらえたら最高にうれいですね。◆



反町さんが参加した6月15日の授業体験付きオープンキャンパス(江東実習場)。山田幸延教務運営委員(第5期生、大工)の説明が分かりやすいと好評。

チームワークも学ぶ軸組み実習、飯能・秩父研修。そして「実習棟」実習へ

### 1年生の授業から



原寸大の建築物に手刻みで初挑戦



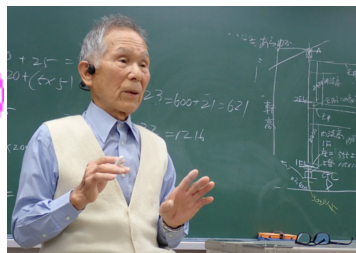
木材の流通を学ぶ



1月下旬の上棟を目指し「実習棟」実習開始。左写真は「一柱」班の打ち合わせ。自分たちで作成した板図で設計仕様を確認しています。

### 2年生の授業から

積算の授業では工務店経営の鉄則を学ぶ→



測量機器トータルシステムの授業も



実習課題「化粧棒隅木」の墨付け学習

【入学選考会】《第31期生 2026年(令和8年)4月入学生》

|       | 第1回 | 第2回 | 第3回      | 第4回     | 第5回     |
|-------|-----|-----|----------|---------|---------|
| 応募締切  | 終了  |     | 11/14(金) | 1/16(金) | 2/13(金) |
| 選考日   |     |     | 11/19(水) | 1/21(水) | 2/18(水) |
| 合格者発表 |     |     | 11/21(金) | 1/23(金) | 2/20(金) |

入学選考会 会場は東京建築カレッジ池袋校舎 午前9時20分開始(午後4時頃まで)

◆新人教育で本校に入学できる就職先の紹介をご希望の方は、早めの「入学応募」をお願いします。

◆12月7日(日)に大工実技実習を体験できるオープンキャンパス(学校説明会)を江東実習場でおこないます。参加は10人が上限です。今期最終回! 参加登録を事前をお願いします。

第31期生  
(来年4月入学生)  
入学応募対象者を  
ご紹介ください。

「建築カレッジから  
はじめよう!」が合言葉

